

第 15 回情報工学演習

AJG23055 牧野唯希

①考案した独自ハンドの説明

独自ハンドとして「グースー」を考案した。これは、手札が全て偶数の時の役である。判定する際に、`new_hand()`を使って判定を行った。 2 で割った時の余りが 1 になるものが一つもないことを確認することで、判定を行った。

②講義や課題の感想

今回の課題は今までの授業課題とは異なり、自分で一から作るのではなく、与えられたプログラムを読み解き、必要なプログラムを追加・編集することが求められた。自分はポーカーをやったことがあったので、プログラムの理解についてはすぐにできた。ハンドの判定の作成についても、書くことが出来たが、フルハウスやツーペアなどで、もう少し短く書けるような気はした。新しいハンドについては、最初何も思いつかなかったが、自分が実装できるかつほかのハンドに影響をあたえないものを選ぶことが出来て良かった。今回みたいな課題は結構楽しかったので、次の情報工学演習 3 も頑張りたいと思う。